

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度 9 月補正予算 支出科目 款：土木費 項：都市計画費 目：都市計画総務費

事業名 まちづくり検討事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部 都市政策課 まちづくり事業推進室 電話番号：058-272-1111(内4727)

E-mail：c11654@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 32,518 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	32,518	0	0	0	0	0	0	0	32,518
決定額	30,000	0	0	0	0	0	0	0	30,000

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

岐阜市中心市街地では、かつての賑わいを取り戻すべく、金公園や岐阜城楽市の整備などが進められており、これら魅力的な施設を線で結び面として、まちの賑わいを広げていく必要がある。

令和 8 年 3 月に「次の世代につなげる県都岐阜市を中心とした交通システムの在り方検討会」を設置し、これまでに 4 回の検討会を実施した。

今後は、より詳細な議論を行うため検討会の下部組織である作業部会を設置する。

作業部会では、「自動車交通への影響」「既存インフラへの影響」「路線バス等既存公共交通への影響」「事業スキーム」などの課題について検討を行うため、これまでの実施内容や令和 7 年度補正予算等で実施している業務成果により議論を進めるが、「自動車交通への影響」と「既存インフラへの影響」については、更に詳細な分析が必要となる。加えて、関係者のみならず、一般県民の理解や機運醸成が必要との意見が出た。

(2) 事業内容

【道路交通調査及び影響検討シミュレーション】

・令和 7 年度補正予算で実施しているバス路線の再編及び将来需要予測を基に、主要交差点における右折や渋滞等の影響や交通シミュレーションを実施。

【既存インフラへの影響】

・既存インフラのうち、重要構造物である橋梁について、補強が必要となった橋梁について、補強手法や補強量など構造計算による照査を実施。

【まちづくりフォーラムの開催】

・県民、市民の機運情勢を図るため、昨年度開催した「まちづくりフォーラム」を一般公開で開催。

（３）県負担・補助率の考え方

岐阜圏域全体に賑わいを広げるまちづくりの推進は県が率先して実施すべきものであり、県負担は妥当。

（４）類似事業の有無

無

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	189	大学教授等
旅費	622	業務旅費等
委託料	31,300	導入検討費等
使用料及び賃借料	407	会場費
合計	32,518	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

- ・現在、作成中の県の総合戦略に位置付け予定。
- ・その後、各種計画への位置付けを予定。

（２）後年度の財政負担

- ・全体事業費は未定、また県の負担割合も未定（今後調整予定）。

（３）事業主体及びその妥当性

- ・事業主体は未定。
- ・「次の世代につなげる県都岐阜市を中心とした交通システムの在り方検討会」の中で今後調整していく。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
完成までの事業検討・ロードマップ等を含め、現実的なプランを仕上げる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

各種計画での位置づけを検討中であり、現段階では指標設定困難。

（これまでの取組内容と成果）

令和5年度	
令和6年度	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和7年度	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	岐阜圏域全体に賑わいを広げるため、魅力ある拠点を有機的に「線」で結び、「面」として賑わいを広げるまちづくりを推進する必要がある。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価)	－
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	－

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 事業の実現性を検討する中で、事業の採算性、周辺道路への影響を確認し、必要に応じて対策する必要がある。
--

(次年度の方角性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後については本調査結果を踏まえ検討する。
--